

栄養部会業務アンケート報告 ～老健管理栄養士の現状～

神奈川県老人保健施設協会 栄養部会

介護老人保健施設リハビリポート青葉
管理栄養士 渡部恵

神奈川県老人保健施設協会 栄養部会全体研修会(1日研修)
平成28年10月24日(月)

1/24

1. 業務アンケート調査の目的

神奈川県介護老人保健施設における管理栄養士業務の実態や問題点を把握し、よりよい栄養ケア・マネジメントシステム構築を目指す。

(本アンケート調査は、平成15年度より継続して実施)

2/24

2. 業務アンケート調査内容

- I) 施設概要と栄養部門運営について
- II) 栄養ケア・マネジメントについて
- III) 経口移行・維持加算について
- IV) 通所リハビリテーションについて
- V) 在宅復帰について
- VI) 看取りについて

3/24

3. 調査方法と回収率

調査方法

調査期間	平成28年8月1日から概ね2週間
調査対象	神奈川県老人保健施設協会加入施設 177施設
調査方法	FAXによる配布及び回収
調査書記入者	当該施設の施設栄養士・管理栄養士

アンケート回収率

88.7% (157/177施設)

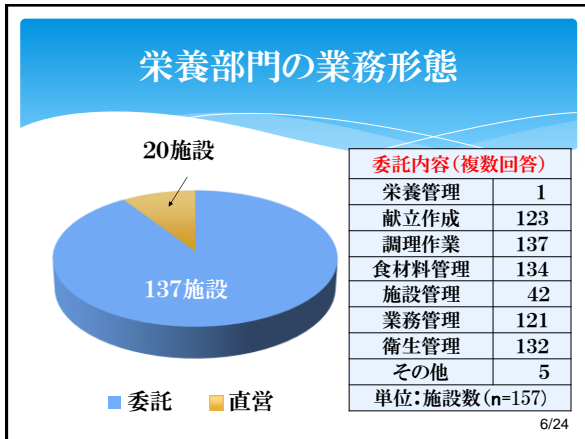
4/24

4. 調査結果

I) 施設概要

平均入所定員	107.9人
平均通所リハビリ定員	30.9人
平均介護度(入所)	2.82
栄養部門の所属状況	
管理部(事務)	58% (91施設)
業務部(療養)	25% (40施設)
その他	17% (26施設)
栄養部門の理念	有: 85% (134施設)
	無: 15% (23施設)

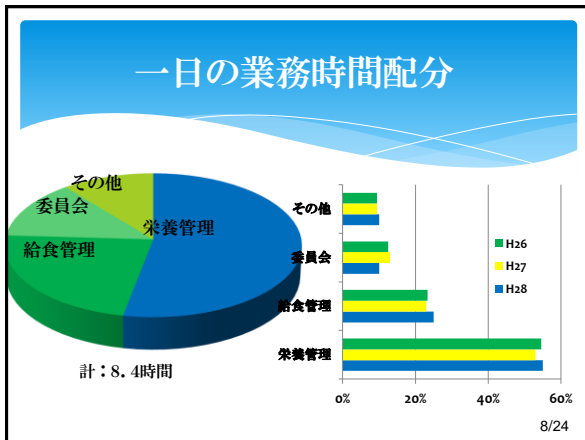
5/24



人員配置

栄養士配置状況				業務委託施設の状況			
	常勤	H27年	H26年	H25年	1名	114施設	常勤のみ
施設	管理栄養士	1.22人	1.14人	1.12人	2名	18施設	常勤のみ
	栄養士	0.14人	0.12人	0.17人	2名	2施設	常勤(1) 非常勤(1)
委託	管理栄養士	0.35人	0.46人	0.75人	2名	2施設	常勤 (非)栄養士含む
	栄養士	0.85人	1.12人	1.30人	3名	1施設	常勤のみ

7/24



Ⅱ) 栄養ケア・マネジメントについて

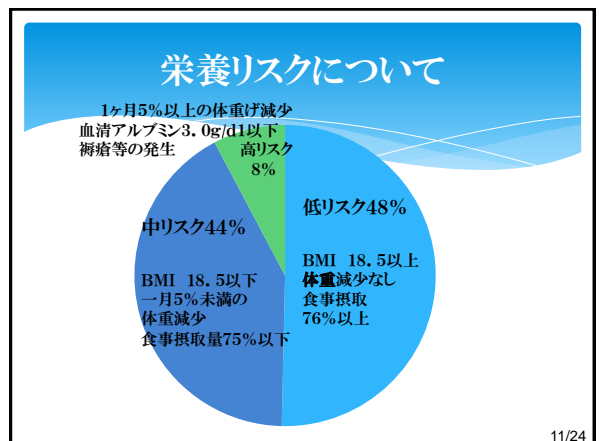
NCM実施施設数	156/157施設
NCM加算請求率	94.3%
管理栄養士 1人当たりの担当利用者数	88.9名 (min0件~max150件)
管理栄養士 1か月当たりの立案件数	35.4件 (min0~max150件)

9/24

多職種協働について

順位	職種	27年→28年
1位	看護職員	95%→96%
2位	介護職員	81%→84%
3位	ケアマネジャー	51%→44%
4位	医師	33%→36%
5位	リハビリ職員	30%→27%
6位	相談員	6%→12%

10/24



褥瘡について

褥瘡のある利用者数 128施設：合計451名
(n=157施設)

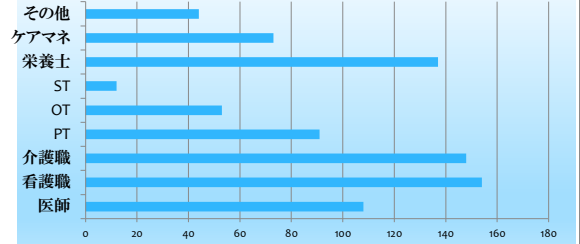
褥瘡レベル

I度	179名	圧迫を除いても消退しない発赤、紅斑
II度	214名	真皮までにとどまる皮膚障害、すなわち水泡やびらん、浅い潰瘍
III度	53名	障害が真皮を超え皮下脂肪層にまで及ぶ皮下組織に至る深い褥瘡
IV度	4名	障害が筋肉や腱、関節包、骨にまで及ぶ骨・筋組織に至る深い褥瘡

12/24

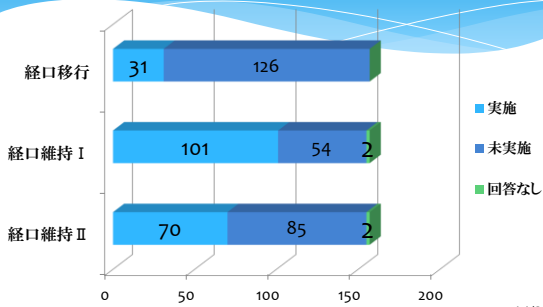
褥瘡について 2

* 褥瘡対策委員会に参加している職種



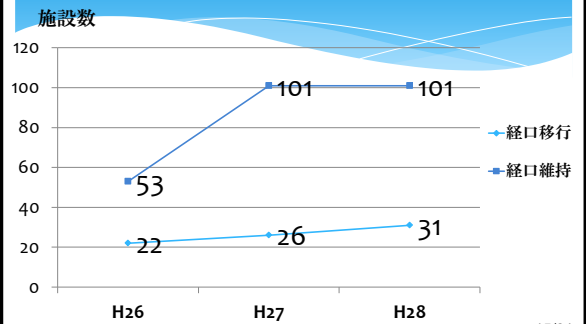
13/24

経口移行・維持加算について



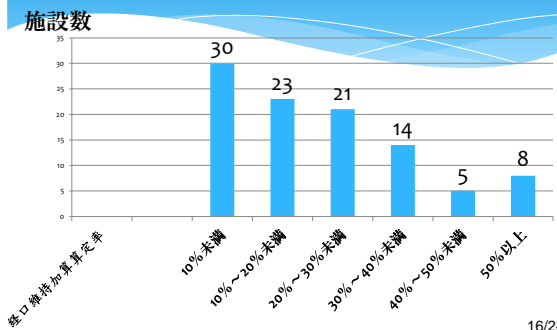
14/24

経口移行・経口維持実施施設数



15/24

経口維持加算算定率



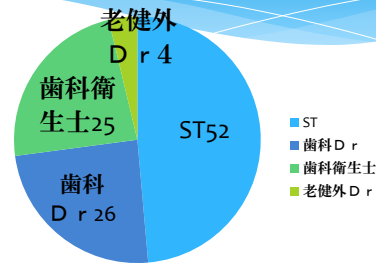
16/24

経口維持加算の取り組みに関わる職種

職種	回答数
介護職員	108
看護職員	106
栄養士	105
医師	100
ケアマネジャー	91
P T	68
S T	67
O T	61
歯科医師	31
歯科衛生士	27
老健外医師	2
他	12

17/24

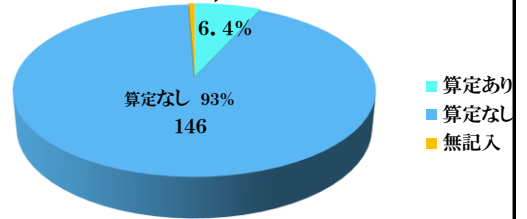
経口維持加算の算定に関わる職種



18/24

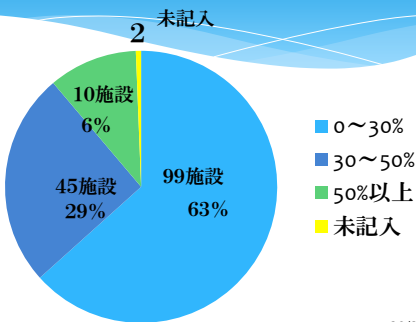
IV) 通所リハビリテーション 栄養改善加算について

算定人数は1施設当たり 3.2人
算定あり 10%



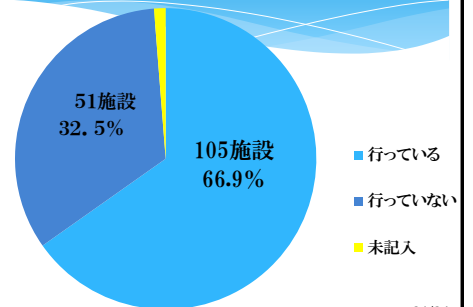
19/24

V) 在宅復帰について



20/24

VI) 看取りについて



21/24

まとめ

- 経口維持加算、通所リハビリテーション
栄養改善加算算定施設は横ばい
- 在宅復帰・看取りへの取り組み施設横ばい
- 施設栄養士の増員を行う施設も見受けられるが、依然1名体制の施設が多い

22/24

28年度栄養部会研修内容

『他職種の取り組みを共有』

- 4月：『高齢者における栄養管理』
『褥瘡の栄養管理』
- 7月：Bブロック研修会
『自助具商品紹介』『美味しく食べる為の道具の知識』
- 10月：全体研修会
『安全でおいしく食べていただくための食支援』
『演題発表：食に関する他職種の取り組み』

23/24